

# 新潟の しっきてん 漆器展

【開催期間】2013(平成25)年  
7月20日(土)~9月1日(日)

漆器はかつて暮らしのさまざまな場面で使われていました。日常の食事には漆塗りの膳や汁椀が、冠婚葬祭などの行事では一揃いの漆器の膳椀が使われました。煙草盆や文机、鏡台、下駄や衣桁など、暮らしを支え彩る道具にも漆は欠かせない存在でした。

漆器の歴史は縄文時代にさかのぼります。古代には漆器の使用には厳しい身分的制約がありましたが、武家の台頭とともに漆器の使用が広まり、近世から近代にかけて一般の人々にも広く使われるようになりました。

近世になると全国各地に漆器の産地が成立し、

新潟でも江戸時代後期には漆器生産が盛んになり、近代にかけて新潟の代表的な産物になりました。

本展では、新潟県内の遺跡から発掘された漆器や、江戸時代末から明治・大正・昭和にかけて使われてきた漆器を展示し、新潟の人々が暮らしの中でどのように漆器を使ってきたのかを振り返ります。また、漆器職人の道具や新潟漆器の制作工程など、新潟の漆器作りについても紹介します。

## 展示構成

### 発掘された越後の漆器 — 古代・中世・近世 —

県内の遺跡から出土した漆器関係資料を展示します。

#### 展示資料

古代：八幡林遺跡出土資料

中世：一之口遺跡、下町・坊城遺跡、水久保遺跡、寺前遺跡、浦邊遺跡、馬場屋敷下層遺跡、和納館遺跡、沖ノ羽遺跡、大沢谷内遺跡、箱館跡、矢詰遺跡出土資料

近世：新発田城跡、近世新潟町跡出土資料

### 漆器を使う

行事の日の膳椀をはじめ、漆を使った様々な生活道具を展示します。

#### 展示資料

膳椀、弁当箱、火鉢、かんざしなど  
市内で用いられた漆を使った生活道具

### 漆器を作る

新潟漆器の制作工程や、漆器職人の道具、県内産地の漆器を展示します。

#### 展示資料

竹塗、錦塗、磯草塗などの新潟漆器とその制作工程の紹介パネル  
塗師の道具、漆掻き職人の道具

## 企画展関連イベント

### 毎週日曜日

午後2時~(30分程度)

※8/4(日)のみ午後3時半から

### 展示解説会

- 申込み：不要
- 参加費：無料(企画展観覧券が必要です)

8月4日(日)

午後2時~3時半

### 講演会

※新潟市文化財センター共催

テーマ：「知られざる漆の文化史9000年の歩み —その歴史と未来—」

- 講師：四柳 嘉章氏(石川県輪島漆芸美術館館長・漆器文化財科学研究所所長)
- 内容：日本の漆文化史9000年を、新潟県内の遺跡出土漆器を含めて解き明かします。
- 会場：新潟市歴史博物館 2階セミナー室
- 定員：90人(応募者多数の場合は抽選)
- 参加費：資料代100円
- 申込み：メールもしくは往復ハガキに、氏名・住所・連絡先電話番号を明記して、下記博物館「漆器展講演会」係まで。♯切 7月26日(金)必着

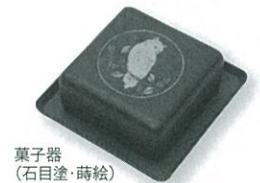
8月11日(日)・  
18日(日)

各日とも午前10時半~12時、  
午後2時~3時半の2回開催

### 体験プログラム

「漆器の加飾を体験 —沈金にチャレンジ—」

- 講師：新潟市漆器同業組合
- 内容：彫刻刀で板に模様を彫り、漆を塗って、金粉をまき付ける「沈金」という技法を用いて、本漆のコースターを作ります。
- 定員：小学生以上、各回共材料がなくなり次第終了
- 参加費：材料代500円
- 申込み：不要



菓子器  
(石目塗・蒔絵)



仏事で使った膳椀



重箱  
(竹塗・黒銅塗)

## Information

観覧料:	みなとぴあのみ	旧小澤家住宅と共通券
一般	600円(480円)	640円
大学生・高校生	400円(320円)	480円
中学生・小学生	200円(160円)	240円

( )は団体料金(20人以上)

※中学生・小学生は、土・日曜日及び祝日の観覧料が無料です。

※企画展観覧券で常設展示もご覧いただけます。

■開館時間：午前9時30分から午後6時まで(観覧券の販売は閉館30分前まで)

■休館日：毎週月曜日(8/12は開館)

■交通案内：□新潟駅より：

新潟観光循環バス(犬夜叉号)で27分

「歴史博物館前」バス下車すぐ

□車で：新潟ハイバス紫竹山ICより約15分(駐車場：73台収容可能)

□信濃川ウォーターシャトルが敷地脇より発着

□旧小澤家住宅へは：みなとぴあから徒歩10分

■お問い合わせ

新潟市歴史博物館

〒951-8013 新潟市中央区柳島町2-10

Tel: 025-225-6111

Fax: 025-225-6130

URL: <http://www.nchm.jp>

E-Mail: [museum@nchm.jp](mailto:museum@nchm.jp)



みなとぴあ

新潟市歴史博物館  
NIIGATA CITY HISTORY MUSEUM

